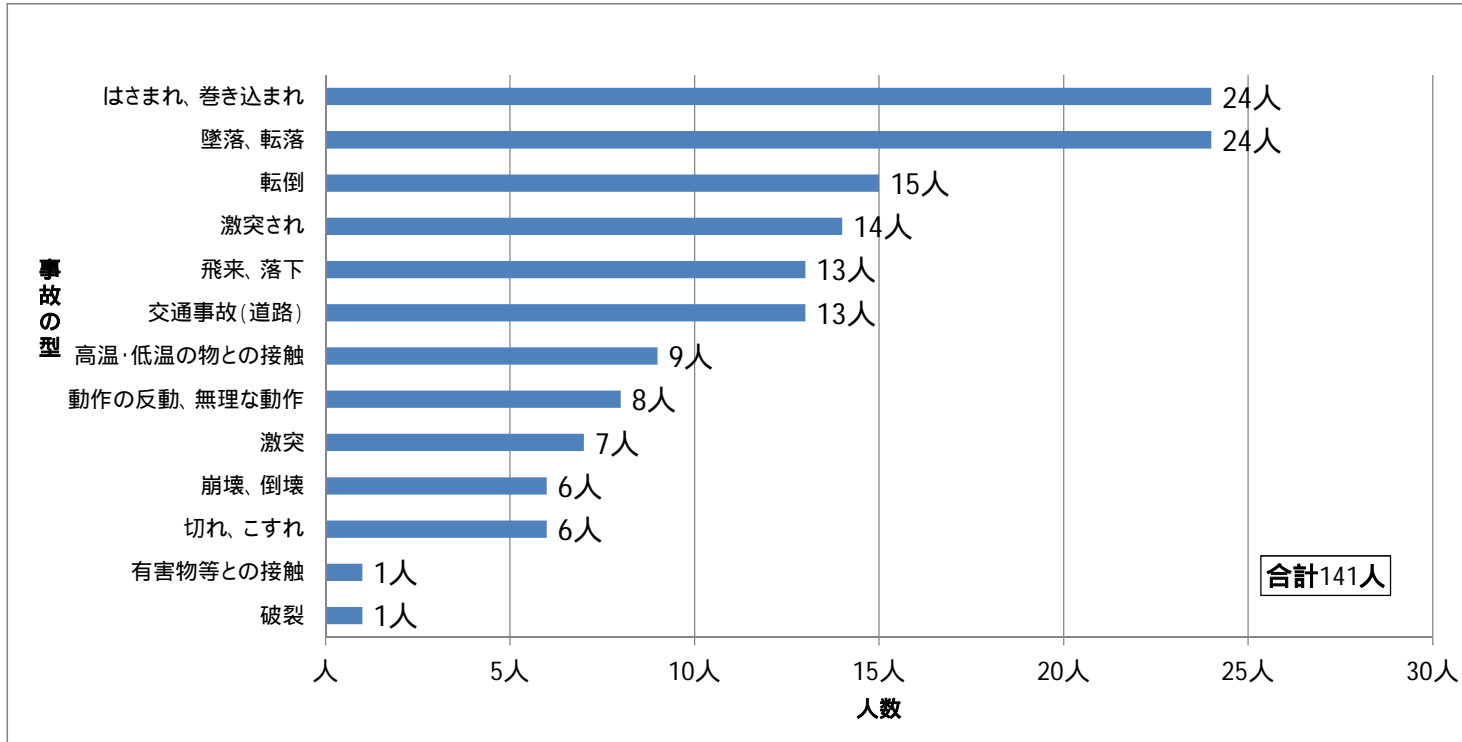


土木工事の労働災害の発生状況(24年1～12月)

H25.3.31確定

1. 災害の原因別(土木工事業)



墜落、転落については、トラック荷台からの墜落(6人)が最も多いほか、コンクリート壁・法面やタラップ(階段)からの墜落や、排水路への転落等が発生しています。

はさまれ、巻き込まれや激突されによる災害は バックホウやダンプなど重機によるものが21人と多く、また、荷の積み込み・積卸し中に、トラックのアオリと荷の間に挟まれる・クレーンで吊り上げ中の材に激突する等の災害(9人)、コンクリートブレーカーによる災害(3人)も、特に多く発生しています。

転倒災害では、バックホウが盛土端から転倒するなど、建設機械の転倒による災害(3人)が発生しています。

高温物との接触では、アセチレン溶断作業や、ガス管の取扱作業中の、ガスへの引火等による災害が発生しています。

交通事故では、一度に3人以上被災する災害が3件発生しています。